

コンパニー・ジェネラル・デ・ゼタブリスマン・ミシュラン
2016 年 3 月 31 日 期末第 1 四半期業績

2016 年第 1 四半期のミシュランは、販売量で市場を上回る成長を遂げて、
売上高 51 億ユーロを発表し、2016 年度のガイダンスを確認

□ 販売量は 3.7%の増加となり、すべての事業セグメントで市場水準を上回って、乗用車・ライトトラック用タイヤは 4%、トラック用タイヤは 3%成長し、特殊製品事業は横ばいを維持(0%)しました。以下の市況において成長を獲得しました。

- 成熟市場における乗用車・ライトトラック用およびトラック用タイヤセグメントの堅調な需要
- 新興市場では、中国における乗用車・ライトトラック用タイヤの力強い需要、インドにおける好調な販売および南米における著しい減少等、入り混じった需要状況
- 特殊タイヤ市場は依然として鉱山会社の期末在庫削減による影響

□ 価格効果はマイナス 0.8%で、グループの積極的なマネジメントアプローチおよびグループの様々なブランドに対する新製品とサービス提供が成功したことによって改善しました。

| 売上高 (百万ユーロ) | 2016 年度第 1 四半期 | 2015 年度第 1 四半期 | 増減率% |
|---------------------|----------------|----------------|-------|
| 乗用車・ライトトラック用タイヤ事業 | 2,897 | 2,777 | +4.3% |
| トラック用タイヤ事業 | 1,430 | 1,474 | -3.0% |
| 特殊製品事業 ¹ | 738 | 771 | -4.2% |
| ミシュラングループ合計 | 5,065 | 5,022 | +0.9% |

*特殊製品事業: 鉱山・建設機械、農業機械、二輪車、航空機用タイヤ、ミシュラン・トラベル・パートナーおよびミシュラン・ライフスタイル

□ 2016 年度ガイダンスを確認

通年では、タイヤ市場は引き続き入り混じった状況で、乗用車・ライトトラック用およびトラック用タイヤの需要は成熟市場では上昇が続き、一方で新興市場では 2015 年のトレンドに沿ったものになると予想されています。こうした展開はミシュランにとって引き続き有利になると思われます。特殊タイヤ市場は鉱山会社の在庫削減による影響が続くと予想されます。

このような環境下で、2016 年のミシュランは、世界市場を上回る販売量の成長を目指しており、為替レートの影響を除外した場合の営業利益(特別損益算入前の営業利益)の増加、および 8 億ユーロを上回る構造的なフリーキャッシュフローという目標を確認しました。

市場動向

□ 乗用車・ライトトラック用タイヤ

| 2016 年度第 1 四半期 前年同期比 (タイヤ本数ベース) | 欧州 (ロシアと CIS を含む)* | 欧州 (ロシアと CIS を 除く)* | 北米 | アジア (インドを除く) | 南米 | アフリカ/ インド/中東 | 合計 |
|---------------------------------------|--------------------------|---------------------------|-----|-----------------|------|-----------------|-----|
| 直需市場 | +2% | +4% | +4% | -0% | -23% | +7% | +1% |
| 市販市場 | +3% | +3% | +6% | +5% | -2% | +4% | +4% |

*トルコを含む

2016 年第 1 四半期の世界中の乗用車・ライトトラック用タイヤの直需市場および市販市場は、3%伸びました。

■ 直需市場

- 2016 年第 1 四半期は 2015 年のトレンドに沿ったものになり、市場は西欧、北米、中国(4%増)およびアフリカ・インド・中東では好調が続きました。
- 南米(ブラジルで 43%下落する等、全体では 23%の下落)、東南アジア諸国連合(ASEAN)(7%減)および東欧(29%減)の新興市場では回復の兆候は見られませんでした。

■ 市販市場

- 地域の低迷する経済環境を反映した南米およびブラジル(6%減)を除き、市場はすべての地域で成長しました。
- 中国では景気減速にもかかわらず、需要は上昇トレンドが続きました(9%増)。
- 成長ペースは、1 月および 2 月に比べて 3 月にはやや減速しましたが、これは前年の高い比較対照値を部分的に反映しています。

□ トラック用タイヤ(ラジアルタイヤおよびバイアスタイヤ)

| 2016 年度第 1 四半期 前年同期比 (タイヤ本数ベース) | 欧州 (ロシアと CIS を 含む)* | 欧州 (ロシアと CIS を 除く)* | 北米 | アジア (インドを除く) | 南米 | アフリカ/ インド/中東 | 合計 |
|---------------------------------------|---------------------------|---------------------------|------|-----------------|------|-----------------|-----|
| 直需市場 | +6% | +7% | -12% | -3% | -39% | +8% | -3% |
| 市販市場 | +2% | +3% | +4% | -5% | -4% | +0% | -2% |

*トルコを含む

2016 年第 1 四半期における世界の新品トラック用タイヤの直需および市販市場は、販売ユニット数が 2%落ち込みました。リトレッドタイヤ市場も、特に欧州で減少しました。

■ 直需市場

- 西欧では堅調な成長、世界中の新興市場および北米では落ち込む等、非常に入り混じった市場でした。
- インドでは 12%の急速な成長、中国では安定的な需要(1%増)が見られました。

■ 市販市場

- 第 1 四半期の需要は成熟市場では堅調でしたが、前年の高い比較対照値から 3 月は減速しました。
- 新興市場では、特に中国(8%減)、ブラジル(6%減)およびタイ(10%減)での減少、インドでは横ばいになる等、縮小しました。

□ 特殊タイヤ

- **鉱山・建設機械用タイヤ**: 鉱業用タイヤ市場は、鉱山事業会社がさらに在庫を削減する一方で、生産が横ばいであったことから、3年連続で著しく縮小しました。直需市場は2015年第4四半期に見られたトレンドに沿って、成熟地域では落ち込みました。中国市場の需要は極めて低い水準で横ばいが続きました。インフラ向けおよび砕石向けタイヤセグメントも今期の成熟市場では横ばいでした。
- **農業機械用タイヤ**: 直需市場の需要は、成熟地域では2015年の急落から回復して伸びました。しかしながら、今後数か月の見通しは引き続き好ましくありません。市販市場は2015年に後退した後、ディーラーによる購入を背景に成熟国では回復し始めています。南米市場では引き続き経済環境によって非常に厳しい状況が続いています。
- **二輪車用タイヤ**: モーターサイクル用およびスクーター用タイヤ市場は、成熟地域では欧州でディーラーによる購入が増加したことに牽引されて改善しました。新興市場は拡大が続きしました。
- **航空機用タイヤ**: 商用機セグメントの需要は、旅客輸送の増加に牽引されて引き続き成長しました。

ミシュラングループ売上高

□ 連結売上高

| (百万ユーロ) | 2016年第1四半期 | |
|---------------------------------|------------|-------|
| 売上高 | 5,065 | |
| 2016年第1四半期の前年比増減 (百万ユーロおよび%) | | |
| 増減合計 | +43 | +0.9% |
| その内 販売量* | +188 | +3.7% |
| 価格ミックス | -68 | -1.3% |
| 為替による効果 | -96 | -1.9% |
| 連結範囲の変更 | +19 | +0.4% |

*単位:トン

2016年第1四半期の売上高は、以下の要因により前年同期比0.9%増の合計50億6,500万ユーロとなりました。

- **販売量は3.7%増加しました。**これは市場水準を上回っており、タイヤおよびサービス双方におけるミシュランブランドおよびその他ブランドの業績によるグループの力強い地位を反映したものです。
- **価格およびミックス効果は1.3%の不利な影響でした。**これは予想通り、前期比で引き続き改善しました。4,300万ユーロのマイナスの価格効果は、主に原材料価格連動制の適用を反映しました。2,500万ユーロのマイナスのミックス効果は、他ブランドの貢献度が拡大したこと、鉱山・建設機械用タイヤ販売の減少、および直需・市販市場セグメントの比較的成長によるマイナスの影響を反映しており、ミシュランブランドのプレミアム戦略の成功による増益を相殺する以上の影響となりました。
- **為替効果は1.9%の不利な影響でした。**これは、グループの主要な使用通貨に対するユーロの変動に起因しています。すなわち、米ドルによるプラスの影響が、ブラジルレアル、アルゼンチンペソ、および影響は少ないもののメキシコペソ、ロシアルーブル、トルコリラ、南アフリカランドおよび中国人民元のマイナスの影響をごく部分的に軽減したものです。
- **連結範囲の変更による影響は0.4%のプラスでした。**これは主にドイツのタイヤ卸売販売業者イーレおよびマイヤー・リッセンドルフ、英国のタイヤ・ネット通販最大手であるブラックサークルズの買収によるものです。



□ セグメント別の売上高

■ 乗用車・ライトトラック用タイヤ事業

2016年第1四半期の売上高は為替の不利な影響を含め、前年同期の27億7,700万ユーロから4.3%増の28億9,700万ユーロでした。

- 2016年第1四半期の販売量は4%伸びました。これはミシュランブランドによる4%の増加(10%伸びたセグメントにおける17インチ以上のタイヤの11%の増加を含む)およびその他ブランドによる8%の改善のおかげです。全体ではグループは、すべての新興地域における競争の激しい環境下で、バリューライン・セグメントの直需市場のポジションを強化しました。
- 価格効果は、市販市場セグメントで2015年に実施された価格戦略、および原材料価格連動制の影響を反映しました。
- ミックス効果は引き続き有利に働き、17インチ以上のタイヤセグメントでミシュランブランドが11%伸びたことが、直需の新興市場におけるバリューラインの販売量増加によるあまり好ましくない影響を相殺しました。

■ トラック用タイヤ事業

第1四半期のトラック用タイヤおよび関連販売事業の売上高は、為替の急激なマイナスの効果を含めて、前年同期の14億7,400万ユーロから3.0%減の14億3,000万ユーロでした。

- トラック用タイヤの販売量は低迷する世界市場において引き続き3%伸びました。これは、直需市場の売上、新たな中間ラインの提供、プレミアムセグメントにおけるミシュランブランドの堅調な業績、および有利に働いた地理的ミックスのおかげです。
- 価格調整は主に原材料価格連動制の適用が、ブラジルおよびロシアにおける通貨の下落に対抗するために導入されたタイヤ価格引き上げに部分的に相殺されたことに対応しています。

■ 特殊製品事業

2016年第1四半期の特殊製品事業の売上高は、為替のマイナスの効果を含めて、前年同期の7億7,100万ユーロから4.2%減の7億3,800万ユーロとなりました。

- 鉱山・建設機械用タイヤ: 原材料価格連動制のマイナスの影響および販売量の減少を反映して、売上高は減少しました。
- 農業機械用タイヤ: 売上高は横ばいでした。販売量の増加が、特に原材料価格連動制および為替レートに関連して価格が低下したマイナスの影響を相殺しました。
- 二輪車用タイヤ: 売上高は引き続き横ばいでした。販売量の増加が、地理的ミックスおよび為替レートの不利な影響を相殺しました。
- 航空機用タイヤ: 販売量の増加から、売上高は増加しました。

2016年度第1四半期の業績ハイライト

- 気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)で、ミシュランは地球の未来を守ることを表明し、2010年から2030年の間に自社タイヤの二酸化炭素排出量20%削減というコミットメントを確認(2016年1月4日)
- ミシュランは新たな1億5,000万ユーロを限度額とする自社株式買戻し計画を発表(2016年1月8日)
- BookaTableの買収により、ミシュランが欧州におけるオンライン・レストラン予約サービスをリード(2016年1月11日)
- プレミアムスポーツサルーン用の次世代タイヤ、MICHELIN Pilot Sport4を発表(2016年1月12日)
- デトロイトでThe MICHELIN® Pilot® Sport All-Season 3+™を公開(2016年1月15日)
- ミシュランのMICHELIN Pilot Sport Cup 2およびMICHELIN Pilot Super Sportが新型フォードフォーカスRSに独占装着(2016年1月20日)
- ミシュランはボーイング777-300ERの最終組み立てラインにNZGテクノロジーラジアルタイヤを供給(2016年2月11日)
- ミシュランはダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス(DJSI)の最高評価であるゴールドクラス・サステナビリティ・アワード2016を受賞(2016年2月15日)
- ミシュランは北米でMICHELIN X LINE ENERGY Zトラック用タイヤの最新バージョンを発表(2016年2月28日)
- ミシュランは自社のタイヤ性能評価方針の透明性を確認(2016年2月26日)
- ミシュランはクレルモンフェランの事業組織を変更(2016年3月1日)
- ミシュランが2016年MotoGPチャンピオンシップに参加するすべてのチームの独占サプライヤーに選定(2016年3月8日)
- Reputation Institute社の2016年コーポレートレピュテーション(企業評判)世界ランキングはミシュランを全体の第15位、フランスで第1位および自動車部品部門で第1位にランク付け(2016年3月24日)

2016年度第1四半期業績ハイライトの全文は、ミシュランのウェブサイトでご覧になれます。

<http://www.michelin.com/eng>

